

時間割コード	G2B45304	開講年度	2026				
授業題目	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ				担当教員	山口 和彦	
英文授業名	A Reading Seminar on the Original Sherkock Holmes Stories						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育 2 3 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	受講者数は25名以内とする。
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】	
		大学D P					
		的確に情報を収集し、理解し、発信する力			⇔	日本語と英語を使い、他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」		芸術文化、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		4つの長篇と56の短篇からなるホームズ物語のうち、『ストランド誌』への連載をきっかけに一躍人気を博した代表的短篇をとり上げ、シドニー・パジェットによる挿し絵を随時参照しつつ、雑誌に連載されたオリジナルテキストを読み解く作業を中心にゼミを進めていく。授業では、正確な読解を行って理解を深めることができるよう、また他の受講生たちと意見交換や意思疎通が図れるよう、基本的に毎回グループワークを行う。その際、英文の内容と味わいを達意の日本語で表現するために、英和辞典、国語辞典など、各種の辞典類を充分に活用してもらいたい。また英国のグラナダテレビによって製作された定評ある映像化作品も併せて視聴し、原作テキストとの比較考察も試みる。					
(5)授業のキーワード		シャーロック・ホームズ、原書講読、グループワーク					
(6)授業計画		第1回：ガイダンス：コナン・ドイルとホームズ作品について 第2回：テキストの講読（1）とホームズ作品成立の背景（1） 第3回：テキストの講読（2）とホームズ作品成立の背景（2） 第4回：テキストの講読（3）と作者について（1） 第5回：テキストの講読（4）と作者について（2） 第6回：テキストの講読（5）とホームズもの長篇について 第7回：テキストの講読（6）とホームズもの短篇について 第8回：テキストの講読（7）と『ストランドマガジン』について 第9回：テキストの講読（8）とホームズの推理について 第10回：テキストの講読（9）と19世紀末について 第11回：テキストの講読（10）と芸術至上主義について 第12回：テキストの講読（11）とダンディズムについて 第13回：テキストの講読（12）とホームズの人間像（1） 第14回：テキストの講読（13）とホームズの人間像（2） 第15回：テキストの講読（14）と映像化作品の視聴 第16回：期末テスト ＊受講生の理解度等により、各回の計画を変更することがあり得る。					
(7)成績評価の方法		演習、課題・グループワークへの取組みの姿勢など（50%） 期末テスト（50%）					
(8)成績評価の基準		授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。					
(9)事前事後学習の内容		予習は原書講読ゼミの準備として不可欠です。英和辞典、英英辞典等、辞書類を充分に活用して事前学習を行ってほしい。また事後の復習も、英語の形式面、内容面での新たな知見や情報を整理し、定着度を高めることに役立つので、毎回の授業内容を必ず振り返る習慣をつけてほしい。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(10)履修上の注意		名作、名文に親しむことを通じて、日頃から英語と日本語の表現力、語彙力の向上に努めるとともに、予習を欠かさず、図書館等での資料収集や調査なども積極的に行ってほしい。					
(11)質問、相談への対応		質問や相談は、授業後に教室で受けつけるが、研究室（共通教育棟3南階）でも対応する。ただし、会議等で不在の場合もあるため、あらかじめメール等でアポイントメントを取ってもらうことが望ましい。メールアドレスは、初回のガイダンス時に伝える。					
(12)授業への出席		授業はすべての回に出席することを基本とし、この授業の達成目標に到達するためには15回中12回以上の出席が必要です。					

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、学習の補充の指示をするので共通教育窓口へ申し出てください。
【教科書】	以下の教科書を使用する予定であるが、詳細については初回のガイダンス時に伝える。 A. C. Doyle, The Six Napoleons and The Dancing Men, Tokyo: Kenkyusha.
【参考書】	指定しないが、必要に応じて授業で紹介する。